

教科等横断型授業「国語」×「外国語」 学習指導案

SDGsでの課題		SDGsの番号(4番)「質の高い教育をみんなに」			
実社会での課題		グローバル化が進んだ現代社会においては、今後外国の人々と交流したり協働したりする機会は確実に増加していく。その国際社会を生き抜いていくためには、自国の伝統的な言語文化に対する理解を深め、そして異なる文化を持った人々に対して自分たちの文化について表現する力を養っていく必要がある。また、日本語と英語の両方の言語から主題を捉えることで、言葉に対する感覚を磨くことを目標とする。			
生徒に身に付けさせたい資質・能力		1 和歌の英訳を通して、繊細な感受性を磨くとともに、言語に対する鋭敏な感覚を養わせる。 2 自国の伝統的な言語文化に対する理解を深めさせる。			
主題（教材）		和歌の英訳を通して言葉に対する感覚を磨く（評論（一）俊頼髓脳）			
指導過程	学 習 活 動		時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等
	導 入	本時の目標を確認する。	3	・話合いや推敲によって、さらに深い解釈をもった英訳を目指すことを確認させる。	
	展 開	1 ジグソー班での活動 (1) 英訳の発表 (2) 話合い	5	・英訳の際に重視した部分や工夫した部分について発表させる。	・ワークシート ・タブレット端末
		2 教員による和歌の解説や英訳のポイントの説明	7	・短い表現の一つ一つに意味があり、その捉え方によって様々な解釈ができることを認識させる。	
	過 程	詠み手の思いや意図をさらに深く表すためには、どのように表現を工夫すればよいか。			
		3 エキスパート班での活動 (1) 英訳の発表 (2) 交流や助言 (3) 推敲	15	・同じ和歌の英訳でも、それぞれ異なるねらいを持って英訳していることに気付かせる。 ・与えられた課題に対してどのように乗り越えるか、協働で検討させる。	
整 理	4 ジグソー班での活動 (1) 推敲した英訳の発表 (2) クラス全体で発表	15	・どのようなねらいを持って表現を工夫したかを発表させる。 ・お互いに気付きや感想を述べ合うことで、創作の楽しさや難しさを味わわせる。		
		本時のまとめをする。	5	・言葉について考え、興味を持って学んでいくことの大切さを理解させる。	
備考					